

2024年 共通テスト日程など決定

追試験は本試験の2週間後。追試験会場は全国で2か所に

旺文社 教育情報センター 2023年6月9日

6月2日、文科省は2024年度大学入学者の「選抜実施要項」を公表。大学入試センターは本日、「共通テスト実施要項」を公表。2024年の共テ関連の日程などが明らかになった。

■2024年 共通テスト日程

◎受験案内配付	9月1日から配付
◎出願期間	9月25日～10月5日(検定料払込 9月1日～10月5日)
◎受験票等の送付	12月中旬まで
◎本試験	1月13日・14日
◎平均点等の中間発表	1月17日(予定)
◎得点調整の有無の発表	1月19日(予定)
◎スタナイン(※)換算表発表	1月19日(予定) ※スタナイン=科目別得点の9段階の段階表示
◎追(再)試験	1月27日・28日 (試験会場は全国で2か所)
◎平均点等の最終発表	2月5日(予定)
◎大学への成績提供	2月5日以降
◎本人への成績通知	4月1日以降

コロナ前のセンター試験では本試験の1週間後の実施だった追試験が、共テでは、導入初年度からコロナ禍で、本試験から追試験には2週間の間隔が設けられてきた。

今回、文科省は、5月8日付けでコロナが5類感染症に移行したことを受け、「コロナ前の形に戻すことを基本とする」としたが、本試験と追試験の間隔は維持された。背景には「過去3年間とも追試験は2週間後の実施で社会的に認知されていることと、受験生の不安への配慮」(文科省)があるという。

現時点では国立大学協会、公立大学協会とも、各協会が定める入試の「実施要領」では、共テ追試験は本試験の1週間後で日程を組んでいる。コロナ下での対応で見られたように、今後、国公立大一般選抜の出願期間、第1段階選抜の結果発表日、共テを課す学校推薦型選抜の合格発表日などが見直され、そののち、既に選抜要項を公表している大学では、日程が修正される見通しだ。

一方、共テ追試験の会場は、2021年～2023年はコロナ対応で全都道府県に設けられてきたが、2024年はコロナ前と同様、全国を2地区に分け、それぞれ1か所となる(近年では東京と、京都・大阪・兵庫のいずれか。追試験の会場は例年12月ごろ公表)。

各大学が入試センターに納付する受験生の成績提供の手数料は前年と同じで、1人1回につき1,500円。2021年以降、3年連続で値上がりしていたが、据え置かれた（2020年570円→2021年750円→2022年1,200円→2023年・2024年1,500円）。

受験生が払う検定料などにも変更はなく、3教科以上18,000円、2教科以下12,000円、成績通知手数料は800円となっている。

(2023.6 加納)